

日時 2014年12月7日(日) 10:00~15:00 晴れ時々曇り 最高気温8.7℃(平年12.9℃)

活動場所 暮らしの森 大坂池南の開墾地、並びに斜面、

作業 郷土種子から育てたイボタの生垣仕立てとズミの寄せ植え地周辺の草、ササ刈り

参加者 会員19名、子ども3名、生物多様性センターからゲスト2名 合計24名

○このところ寒波の影響で平年より寒い日が続いています。最高気温が先月の活動日をなんと10℃以上下回りました。でも幸い風がないので快適な活動日となりました。

○小笠原さんの挨拶に続き滝川代表から、①この会をNPO法人にする申請を提出、4月には承認される見通しで、NPO法人になれば社会的信用度が増し、寄付なども受け入れやすくなる等メリットが大きい。②本日の活動場所はこの会がメンバーの1員でもある「郷土種子を活用したなごやの緑化及び生物多様性保全推進協議会」が苗木を植栽(3/16実施)したところで、イボタは生垣仕立てにし、ズミには支柱(竹の杭)を立て、併せ周辺の草、ササを刈りたい。

③本日は生物多様性センターの堀さん、茶原さんがフィールド訪問として作業に参加(紹介)

④この活動に3回参加したお子さんの表彰;以上、少々長目のお話の後、作業に入りました。

○冬場は午前中、ほとんど日陰になるという場所ですが春にはイボタやズミの花が咲き誇るとの説明に励まされ大鎌、小鎌、長柄はさみで作業にいそしみました。高いところが好きなTさんは年齢を忘れ、葉が落ちた柿の木に登りのこぎりで枝を剪定、どうだ!と悦に入った場面も。

○作業終了後にはフィールド訪問のお二人との懇談会を開き活発な意見交換が行われました。



カエル池横の紅葉もいぞ!



2人のゲストを紹介



よくガンバッタデ賞



ムラサキシキブ?コムラサキ?



イボタ今ちょっと頼りないけど生垣になる



白いズミの花が咲くころを楽しみに